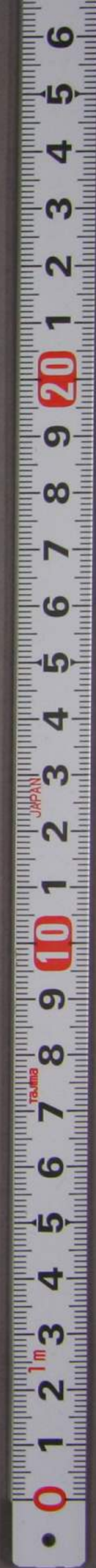


吉田新田埋立地

大畧

2678





414  
A1339



吉田新田埋立地

ヲ除キ惣坪

六萬八千坪

此内三千坪ハ壹萬九千四ニ賣拂

残り六萬五千坪

此内貳萬五千四ノ抵當トシテ羊右衛門、

六千坪ヲ當ツ

全残り坪壹萬九千坪

大正十一年四月  
大隈侯爵邸寄贈



右地所之沽券書僅ハウラルスホール社中工預り残  
リノ部ハ神奈川縣工預り有之

沽券書高全ク每坪八円ヨリ十六円ニ位ニス市  
街之定價ニ比較シテ此通計七拾八萬円ニシテ  
平拘スル片ハ売坪拾貳円拾五銭トナル〇右地所雜費  
高西曆千八百七十三年迄ニ左之如シ

常盤屋ヨリ出金

壹萬四千円

吉田勘兵衛同

七十円

石川羊屋門同

<sup>概當</sup>貳萬五千円

ウラルスホール會社ヨリ

四拾壹萬六千円

通計 六萬貳千円

地所成功入費

四萬五千円

亦通計 五拾萬令七千円

外ニ命令臨時任事堀割其地政府ヨリ



可挿分ル

貳萬円

差引残り四拾八萬七千円

右ニ加算スヘキノ利子ル壹萬三千円

全數惣計五拾萬円

此之五拾萬円ニテ湿地ノ全体ハ成功シ而シテ請求  
ニ應ジ賣渡スヘシ左ノ六石買入ハ道路ヲ除キ成  
功坪六萬九千ヲ以テ瞭明ノ沽券書ヲ得ヘシ此  
六萬九千坪ハ毎坪七円七拾五錢トナル今西三年  
裁ユルキハ必ス壹坪拾円ヨリ拾五円ニ賣騰スヘ  
シ政府ヨリ石場所工追々本村住民ノ轉住スヘ  
キノ廣告アラハ速ニ定價ノ弗騰ヲ得ルハ判  
然トス其謂ハ横濱ニ近ク住スヘキ明地モ十ヶ  
ハ亦外ニ住民經營ニ適用ノ場所モ十ヶハ  
ナリ將横濱外國居留地ニ近接スル場所ハ既ニ  
壹坪拾八円ヨリ三拾円ニ至レリ依テ右吉田埋



立地ニ善キ建物ヲ築造セハ速ニ便宜ノ場所ト  
ナリ亦定價ノ貴騰ニ可有之の因テウラルス  
子想像スルニ如是事情ハ先ツ不徒康ノ湿地ヲ  
埋メテ以テ良地ヲ成シ而シテ横濱全体ノ善事  
ニ當ツヘキノ儀ニ依而之レニ同意シ金ノ融通ヲ致  
シタリ尚同子想像セシハ此ノ高法ノ發起ハ便  
宜ニシテ又有益タラント思エリ猶此ノ事情ニ於  
テ同子ノ勢力ニ適當口ハ金ノ融通ヲ連綿ス  
ヘケレト不幸ニシテ外国人川河ノ境思フ或ハ他  
ノ地所ヲ保存スルノ許可ナケレハ融通金ノ抵當  
トスル目途ナシ五ナキ片ハ歐羅巴亞米利爾  
ニ於テモ此地ヲ繁榮サセニ金融ヲ得ルノ最モ  
安シ今ヨリ適宜ノ貸賃ニテ外国人工保存ス  
ルノ許可ヲ得右ヲ日本人工用ヒサセシノ許  
シ有ラハ速ニ社中ヲ求テ日本人工適用ス善  
良タル家屋ヲ建造スルニ安スカルヘシ。



是ヲ施行スル氏ハ毎年過私ノ利益ヲ得ヘケレ  
ハ即チ横濱ノ山手或ハ溪谷ニ西ノ和人雜居ノ  
求メ有ルニ隨ヒ此ノ透間ヨリ創立スルヲ專用  
又此ヘシ此旨ヲ以テウラルスホール、特許ヲ得  
ニテヲ希望シテ先前年テロン氏ヲ越テ此儀ヲ  
奉呈シヌレド時許ノ免ルシヲ遂ケス〇日本友之  
ヲ扶助スルノ法方尚横濱ニ在ル都而ノ住屋  
ヲ改正スルノ法ヲ見<sup>施行スル</sup>ナカラニシテ全ク能サルナリ

依而ウラルスホール社中ハ今前件之金ヲ恢復セ  
セニテ而已ヲ欲シテ他ノ高法エ右金ヲ宛ント  
ス依而右社中ハ始メ埋地ヲ遂ケテ其利ヲ得  
ニテヲ希望シヌレド今更ニ放心シ且ツ日本  
社中ノ者モ同様先前渴望セシ利益ニ放レシ  
テヲ欲シ只管同人等ノ借財ヲ挿ヒ入レテ  
而己ヲ願ナリ此情實ニ放テハ様々ノ法方ヲ得  
テ仕遂クヘシ



第一政府ヨリ前渡ヲ得ンニハ現金収或ハ請求  
スル高工。利子ヲ加エタル国債ヲ以テ施行スル致  
○右地面ハ都而抵當證據ニ奉<sub>レ</sub>王シ置キ貸貸  
ヲ以テ其利子ニ應スルノ抵當ト致シ置キ左スレハ  
政府ノ幸不幸ニ於ケル忠心ニ更ニ十カルヘシ此法  
ニ於テ日本人若シ大業ノ是ヲ為ニハ先前東  
京ニラヒテ普通ノ目論見ヲ起セシニ扶助ヲ  
得シ如ク適當ノ扶助ヲ受ルヘシ

第二都而ノ地所ヲ賣捌カンニハ政府ヨリノ委任  
ヲ得タル日本人社中ニテ地位ニ比適スル国債ヲ  
發兌シ此国債ハ政府ノ證明ヲ得ヘシ即チ政府  
ハ国債高ノ抵當トシテ其地所ヲ政府ニ保券  
シ且ツ地所ノ貸貸ハ国債亦高并利子ノ抵  
當トシテ政府ニ押<sub>レ</sub>フヘシ○若シ此国債ヲ施シ  
而シテ級減債ト致<sub>レ</sub>ハ外國ニ於テモ實安シ  
且ツ此法方ニ於テウラルスホ<sub>レ</sub>社中ニ金ヲ請  
取ルヘシ

第三政府ノ補佐ニテ日本人ハ右地所ヲ抵當



トシテ因立銀行歟或ハ他ノ財存アル所ヨリ廣  
利ノ割ニテ地所抵當ニテ融金セシテ政府ニ  
補佐シタマフハ

第四萬一此有テ政府ニ於テ不能クハ此地所ニ於  
テ他豊富ナル諸侯歟其他必定金ヲ貸シ或ハ  
預ルテテ殊ス者有ルヘシ〇尚適宜ノ利子ヲ  
得テ地所ノ賣捌ニ於テモ亦相應ナル徳ヲ得  
ンテ判然ニシテ其益ノ大集ハ必定多満ノ事ト  
ナルヘシ尙坪敷田益ト見ルキハ全ク拾貳萬田ノ

益ト積重スヘシ〇當今ノ持主共今可待ノ多益  
ニ放レテ今ノ面例ヲ逃ルベシ此地所ヲ全ク適  
然ニ取り計ヒテ成ス氏ハ是ヲ求テ確然トスルノ  
外他事ニ曾テ安堵ナカルヘシ横濱ハ日長  
口富高々増加シ如是肝要ノ地ハ定價日ニ貴騰  
ヲ得且ツ此地ヲ行ヒ住民ヲ引導セハ其價ニ速  
ニ古ニ勝ル過徳ヲ得ヘシ〇政府ヨリ扶助アルヘキ  
ノ主意ハ此仕遂ニ依テ横濱ヨリノ歳入モ増  
加スヘシ諸民ノ徳并遠近ノ人モ日本人ノ期望



ノ趣思ヲ嘆美スヘシ。○他ノ主意ハ堀割り并波  
戸場ノ目論見モ此ノ趣思ニ付テ政府ノ望意  
ニ任セ工業シタレハ全ク成功セハ横濱ノ繁栄  
ニ於テ充分ノ助力トナリ亦其地位ニモ相應ノ補  
佐トナルヘシ。○尚他ノ主意ハ便宜ナル新地ノ内良  
地ノ大回ヲ以テ政府ニ入用シ更ニ右ノ分トシテ僅  
カノ掃ロモナシ。○今政府手厚ク実意ニ右ヲ取り  
計ヒタマワハ始メ此美事ヲ發起セシ石社中  
尚同人等金ノ不足ヨリシテ全功セガル多端ノ苦

ニモ防禦トナルヘシ。○權勢ノ人エ事ヲ保托セシ  
ムレハ其者必ラス不遠シテ全備スベシ  
實ニ僅カノトニシテ好キ貸賃ヲ拂ヘキノ民  
口ヲ得テ塞クヘシ。若シ著シキ建物ノ許可ア  
ラハ速ニ其所エ在任スルノ徳ハ委ク有ルヘシ  
即チ良水カス等ヲ挽キ入レシニモ最ク安カルヘ  
シ。火難除キノ家屋等ハ安直ニ建造シ亦横  
濱ニ於テ商法ヲナセル住民等ニ於テモ速ニ盛  
大ノ居所ヲ得ルヘシ。



